

新潟医療センターニュース

第43号

発行 新潟県厚生連労働組合新潟支部
発行責任者 荻澤 仁



**春爛漫！
病院に吹き込む新しい風**

トレーニング用の人形を使い、様々な看護研修を行います！

春の楽しみ方は様々ですが、「桜の国ニッポン」と、どこかのテレビCMのキャッチフレーズを聞いただけでも心が踊ります。まさに今、春爛漫…爽やかな春風に、桜の花びらが舞いあがります。医療センターにも沢山の新しい春風が吹き込んでいます。春らしい病院の出来事を少しばかりお話ししたいと思います。

胸躍る着任式

四月一日のトピックスとして、JAL（日本航空）は紙飛

行機片手に三年ぶりの入社式を行ったそうです。同日、新潟医療センターでも着任式が行われました。関連病院からの転入

二十三名、新採用三十名、計五十三名が意気揚々と着任いたしました。

麻酔科医師、病理部医師が常勤化され、診療に厚みが増しています。その他、医師、コメディカルスタッフ（看護師・医療技術職）、事務員の転入は、それぞれがこれまで培った経験を大いに発揮して頂き、更なる医療サービスの質の向上が図られるものと思います。

若い力に期待して

新しく採用された職員は夢と希望に満ち溢れ、とても初々しい笑顔と緊張の面持ちです。入社早々、オリエンテーションと初期研修に明け暮れています。看護部では、ベテラン看護師の指導のもと、より実践的な看護の手順を頭と身体に叩き込んでいく真つ最中です。

安心したお産

出生率が六年ぶりにわずかながらも上向き、少子化にかすかな明かりが差す一方で、肝心の「産婦人科医」や「産む場所」の不足が問題となっている今日です。しかし、地域の安心出来る医療提供をめざす新潟医療センターでは、この四月より、産科を

新たに開設致しました。

その他、各診療科の専門的な外来を開設することになりました。煙草をやめたい方をサポートする禁煙外来（内科）、糖尿病の合併症や末梢動脈疾患による下肢の切断の予防を目的としたフットケア外来（形成外科）、小児ワクチンの増加に伴う混乱・疑問等の対応や、接種計画のサポートを行うワクチン外来（小児科）が始まります。

新たな病棟体制

この四月より、A棟三階病棟が産科を中心とした女性専用病棟として生まれ変わりました。それを機に、診療科別入院病棟の配置が一部変更され、効率の良い医療と看護提供を目的に再編されました。総合案内協の掲示をご覧頂いたら幸いです。

ホームページの活用を

病院ホームページもリニューアルされています。詳細は二面にて紹介しておりますが、病院を利用される際にお役立て下さい。



新採用になった皆さん、若いパワーに期待します！

憩いの場として

新院長が就任し、一年が経過しております。院長を中心に知恵を出し合い、地域の皆様に安心して病院を利用して頂く、健康を考える憩いの場でありたいと、常に前を向いて前進しております。

新潟医療センターは様々な風が吹き込み、新たな病院体制で春を迎えております。



消化器内科研修の中原先生 (左)

平成十六年度にスタートした医師の臨床研修制度。研修病院には「協力型」と「基幹型」といわれる二つのタイプがあるのをご存知でしょうか。



新潟医療センターも臨床研修指定病院であり、今までも研修医は在籍していましたが、これまででは新潟大学の協力病院として、新潟大学の研修プログラムに沿って研修を行う「協力型」の病院でした。これは今年度以降も継続し、今後とも大学から研修医を受け入れていく予定です。それと同時に、今年度からはもっと研修内容を充実させ、当院独自のプログラムで研修ができる「基幹型」の病院として新たなスタートを切りました。基幹型第一号となる研修医も今月から研修を始めております。この研修医は、次回の医療センターニュースで紹介いたしますので、どうぞ楽しみに！ (記事/ 菲澤)



リニューアルされたホームページ

病院探索

ホームページ編

がらりとリニューアル

最近ではスマートフォンなどの携帯端末が普及し、いつでもどこでも情報を簡単に得られる時代になりました。この様な時代に合わせて病

院のホームページをリニューアルさせて頂きました。今までのホームページは、情報が整理されておらず見たい情報までなかなか辿りつけませんでした。さらに最新の情報も盛り込まれておらずホームページの役割である情報発信が充分にできていませんでした。リニューアルしたホームページでは、それらを踏まえて誰もが簡単に欲しい情報がすぐに見つけられるような工夫をしています。トップページには、主要な情報ページへのアイコンが分かりやすく表示してあり、迷うことなく欲しい情報を見つけていただける様になっています。また「新潟医療センターニュース」などの広報誌をホームページから見る事ができ、最新の情報をホームページから発信できるようにになりました。説明や案内にも写真や図などを使用し、より分かり易いよう心掛けていきます。これから、ホームページが地域の皆様にお役に立つ情報をたくさん発信していきたいと思っております。 (記事/ 夏目)

職場紹介

眼科

精度の高い装置を導入して...



当院眼科外来は、非常勤医師五名、看護師一名、視能訓練士二名で外来を行っております。外来には、白内障、緑内障、網膜剥離、糖尿病網膜症など

様々な病気の患者さんが来院され、必要に応じて手術も行っております。また、一般的な近視、遠視、乱視、老視に対する眼鏡処方、コンタクトレンズの処方もしています。

一昨年には網膜や視神経の断面構造を観察することのできるOCT(光干渉断層計)や、白内障手術には欠かせない眼軸長測定器OLMマスターの導入により、患者さんの負担を減らし、より精度の高い検査をすることができるようになりました。

スタッフは少人数ですが、明るく優しい五名の医師と協力し、検査や外来診療がスムーズに進むよう努力しております。

四月からは水曜日が一日休診となり患者さんにはご迷惑をおかけいたしますが、何かお困りのことがありましたらお気軽にご相談下さい。 (記事/宮北)

編集後記

当院のA棟3階の改装工事もやっと終了し、新たなスタートを切ることが出来ました。

ポカポカとした暖かい日差しがさす季節になり、やすらぎ堤ではチューリップや桜の花が見頃となりました。天気の良い日にはぜひ、のんびり、ぶらぶらと桜を観ながらお散歩を楽しんでみてください。 (堤)



改装工事が終了したA棟3階

編集委員 渡辺 いずみ 堤 剛 吉井 浩美 阿部 真由美 吉川 博子 佐藤 明香 小柳 良明 菲澤 仁 大橋 利弘